

東都医療大学図書館通信

学生選書ツアー参加者募集中!

今年で5回目を迎える学生選書ツアー。毎年面白い本をたくさんご選書していただいております。さあ、今年はあなたの番です! 図書館の本を、あなた自身で選んでみませんか。



①選書ツアーって?

図書館の本を自分で選ぶ企画です!

②どれくらい選べるの?

一人あたり20,000円程度選書できます!

③交通費がかかるな。

交通費は支給されます気軽に行ける!

④どこでやるの?

今年は紀伊國屋新宿本店 広いです!

～ 昨年はこんな感じでした (会場は紀伊國屋書店さいたま新都心店) ～



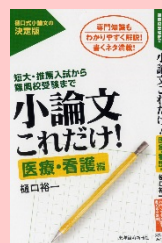
◆2017年度 実施概要◆

- ①実施日: 2017年9月8日(金) 11:00～13:00
- ②実施場所: 紀伊國屋書店新宿本店
- ③募集人数: 学生10名
- ④選書金額: 一人あたり 20,000円程度
- ⑤交通費: 支給します! ※公共交通機関で換算した自宅最寄り駅+新宿駅住居の金額 ※通学定期に含まれる区間は除く
- ⑥申込方法: 申込書に必要事項を記入し、事務局の提出BOX「学生選書ツアー参加者募集」へ提出。申込多数の場合、抽選。
- ⑦募集切: 2017年 7月31日(月)
- ⑧詳しくは、図書カウンターへお問い合わせください。



いよいよ就活! 小論文対策はこの本で決まり!

就職試験では面接のほか、小論文を実施しているところが多くあります。「小論文」とは「自分の考えや意見、そしてその理由を述べた文章」のことです。感想や体験を書いた「作文」とは異なります。就職試験では、決められた時間内に与えられたテーマに沿って自分の意見を800～1,000字程度にまとめなければならず、さらに、その文章には説得力が備わっていなければなりません。そんな小論文を試験当日にさらさらと書ける人は、なかなか少数なのではないでしょうか。小論文は練習を重ね、コツをつかむことで自信をもって試験に臨むことができます。小論文の指南書として『小論文これだけ! 医療・看護編』(東洋経済新報社)や『小論文 時事テーマとキーワード看護医療編』(旺文社) ※現行2014年刊行 ver.が最新ですが、次期改訂については未定などを活用してみたいかがでしょう。「看護のあり方」「病院のあり方」「チーム医療」「臓器移植」「安楽死と尊厳死」他、さまざまなテーマを取り上げ、丁寧かつ簡潔な解説、論文例が掲載されています。小論文に頭を悩ませている方、ぜひお手にとってご覧ください。



『小論文これだけ! 医療・看護編』
樋口裕一著 東洋経済新報社刊
* このほか「看護超基礎編」「看護深掘り編」「医学・医療編」などもあります。



『小論文時事テーマとキーワード看護医療編』
内田和美監修 相澤理著 旺文社刊
* 現行2014年刊行 ver.が最新ですが、次期改訂については、未定。

5月中旬～6月中旬までに納品された図書・雑誌など

《図書》

- 『六法全書 平成29年版』『母子保健の主なる統計 平成28年度』
- 『わが国の母子保健 平成29年』『看護法令要覧 平成29年版』
- 『医療福祉総合ガイドブック 2017年度』『社会保障統計年報平成29年版』
- 『看護関係統計資料集 平成28年版』

【国家試験関連】

- 『クエスチョン・バンク保健師国家試験問題解説 2018』
- 『保健師国家試験のためのレビューブック 2018』『ラ・スパ 2018』
- 『看護師国家試験問題解答・解説 2018』(メジカルブックス社)
- 『これで完璧! 看護国試過去問完全攻略集 2018』(ニさわ黒本)

《雑誌》 ※下記OPACをご参照ください。

<http://www.lib-finder2.net/tohto/servlet/New?findtype=1>

看護・医療系図書が10%OFFで購入できます!

展示販売のお知らせ(前期)

展示販売	納品
4・5月は終了しました。	
6/6(火)	⇒ 6/13(火)
7/4(火)	⇒ 7/11(火)

時間 : 12:30～13:10
場所 : 1F 食堂
書店 : 廣川書店

TEL : 027-322-4804
Mail : takasaki@hiro-kawa-books.co.jp

※日程変更等生じた場合は、別途お知らせ致します。

あなたのリアルを探求しませんか?

～2冊の本はその入り口へと誘うでしょう～

高齢者看護学講師 甲州 優



『障害者のリアル×東大生のリアル』
野澤和弘/編著、ひとう社/刊

『メッセンジャーナース』
甲州優ほか/編、看護の科学社/刊

数年前、ひょんなことから「難病と在宅ケア」という月刊誌の編集者と知り合い、交流を持つようになった。その編集者に面白いから是非読んでみてと勧められた書籍(実際に面白かった)1点と、私が初めて編集に携わった書籍を紹介したい。この2つの本は、昨年発刊されたばかりなので注目してほしい。どちらも将来医療職として人と関わっていく皆さんがどのようにあるべきかを考えさせられるという共通点がありお勧めだ。

1冊目は『障害者のリアル×東大生のリアル』。この本の中では、学生が自主運営するゼミにゲストとして呼ばれた障害者と学生たちが出会う。その時、学生たちが障害者に対して自らの中でどう感じたかを軸に自らのリアルを探求するという構成だ。それと同時に、担当教員であり本書の編集を担っている野澤氏による、障害に関する社会的背景などの解説をしている読みやすい本である。この書籍には実に多様な障害者が登場する。実際にリアルな障害者と出会う機会の少ない皆さんには、間接的ではあるがこの書籍を通して様々な障害者が存在しているという事を知って欲しい。そして、障害者と出会った東大生が思わず「ぶっちゃけた」という中身を読んで「人の話に関心を寄せる」感性を磨いてほしいと願っている。良くも悪くも流石に東大生だと思う所もある。しかし、同年代の学生の皆さんと同じ様にコンプレックスもありプライドもあり、何かを探している様でもあり、熱い様で冷めている様でもあり、リアルな障害者に出会った事でまさに青年期のアイデンティティの確立・拡散の揺さぶりを受けている。それらを読んで学生の皆さんの成長の糧にしてほしい。

2冊目は『メッセンジャーナース～看護の本質に迫る～』。メッセンジャーナースという言葉はまだ耳慣れないと思うが「医療の受け手と担い手の架け橋になるナースのこと」として覚えて欲しい。簡単そうでなかなかできない様々な実践がこの書籍には記されている。先の東大生のぶっちゃけ話ではないが、患者という身になると医療者にはなかなか本音を言えない、というのが本心だと思う。そこを敢えて「医療の受け手が主体的に自分らしく医療の選択ができるように、本音が言える様に」関わり架け橋となっていくのである。そうとう強い気持ちがなければ、と思われるかもしれないが気負う必要はない。患者本人がどう生きたいのか、どんな人生を歩んでいきたいのかに寄り添いながら架け橋となる。それにはまず「目の前にいる人の話に関心を寄せしっかり聴く」という事がとても大切であり、そのような実践の数々が掲載されている。また、私が患者家族として体験したことだけでなく、看護学生時代のリアルな私の様子が記されている。

最後に、冒頭で紹介した月刊誌の編集者から依頼を受け「吸引介護に対する私の取り組みと課題」(2015.10)「災害ユニバーサルデザイン(サークル)活動について」(2016.4)の二つの記事を書かせてもらった。先の2冊の書籍は人と関わるときの中での向き合い方についてその本質を考えさせられるものだが、2つの記事は、より実践的な方法論として今後役に立つだろう。興味のある学生はぜひ手に取って読んでみて欲しい。そして感じた事、疑問に思った事を私にぜひ聞かせてくれないだろうか。そして語り合おう。



『アルチンボルド展』



「奇天烈」と呼ばれた異彩の画家、ジュゼッパ・アルチンボルド(1526-1593)。果物や野菜、魚や書物といったモチーフを組み合わせ、寓意に満ちた肖像画によって、広く知られています。彼の描く絵画は、奇想と知、驚異と論理とが分かちがたく交錯しており、暗号のようにして豊かな絵解きを誘う画風は、あの20世紀の芸術家ダリをも驚かせたとわれています。

本展のみどころは、なんとといってもアルチンボルドの代表作『四季』。《春》《夏》《秋》《冬》の集結は奇跡的であり、日本で初めて一堂に公開します。最初のヴァージョンは、1563年、ハプスブルク家の神聖ローマ皇帝のために描かれ、好評のため、その後数回にわたり別のヴァージョンが制作されました。それぞれの季節の植物によって上半身が描かれており、年若い《春》から老人の《冬》まで季節が各世代に対応しています。この連作は、ミクロコスモス(小宇宙=人間を構成する秩序)とマクロコスモス(大宇宙=自然や宇宙全体の秩序)の対応という、古来の考え方に根差しています。

ハプスブルク家の宮廷画家であったアルチンボルドは、絵を描くかわたら、宮廷の祝祭行事の企画演出でも才能を発揮しており、素描家としての側面もうかがえます。

油彩作品数が少なく、借用が大変困難なアルチンボルドの油彩約10点が集結したこの展覧会。奇想天外な謎解き絵画の魅力を、貴方も堪能してみませんか。

(左上) ジュゼッパ・アルチンボルド《春》 1563年 マドリッド、王立サン・フェルナンド美術アカデミー美術館 © Museo de la Real Academia de Bellas Artes de San Fernando, Madrid / (上右) ジュゼッパ・アルチンボルド《夏》 1572年 デンバー美術館 © Denver Art Museum Collection: Funds from Helen Dill bequest, 1961.56 Photo courtesy of the Denver Art Museum / (下左) ジュゼッパ・アルチンボルド《秋》 1572年 デンバー美術館 © Denver Art Museum Collection: Gift of John Hardy Jones, 2009.729 Photo courtesy of the Denver Art Museum / (下右) ジュゼッパ・アルチンボルド《冬》 1563年 ウィーン美術史美術館 © Kunsthistorisches Museum, Wien



ウツギの花



真っ白に咲き誇るウツギの花。控えめながら凛と咲くその姿に背筋がピンとなります。花言葉は「古風」「謙虚」。馨しいその香りから、日々の疲れを癒してくれる優しさを感じます。

会場: 国立西洋美術館 [東京・上野公園] (〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7) 会期: 2017年6月20日(火) - 9月24日(日)
開館時間: 午前9時30分 - 午後5時30分 ※入館は開館の30分前まで ※金・土曜日は午後8時まで 休館日: 月曜日、7月18日(火) ※ただし、7月17日(月)、8月14日(月)、9月18日(月)は開館 観覧料: 一般1,600円 / 大学生1,200円 / 高校生800円 ※中学生以下は無料 ※心身に障がある方とその付き添い者1名は無料(入館の際に障がい者手帳をご提示ください) 公式サイト: <http://arcimbordo2017.jp/> お問い合わせ: 03-5777-8600 [ハローダイヤル]